

新型インフルエンザ等に関する用語について

1 インフルエンザ

(1) 新型インフルエンザ等

① 新型インフルエンザ

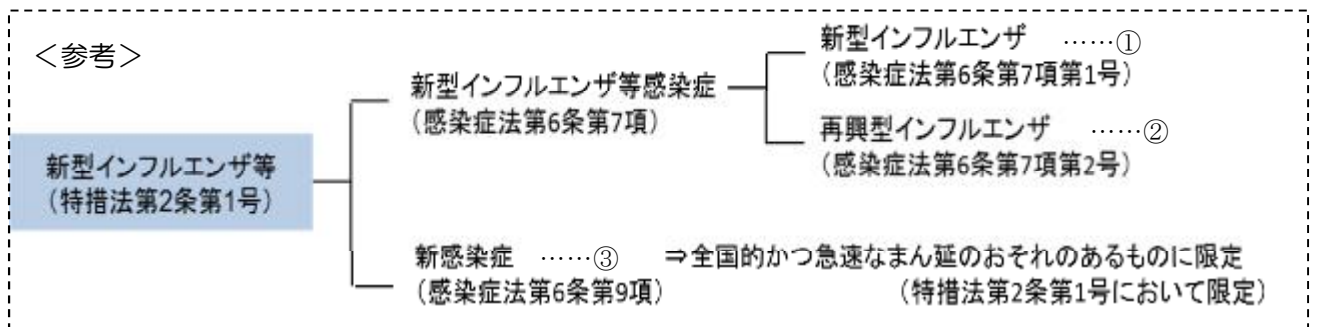
新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザであって、国民の大部分が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。

② 再興型インフルエンザ

かつて世界的に流行したインフルエンザであって、現在の国民の大部分が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。

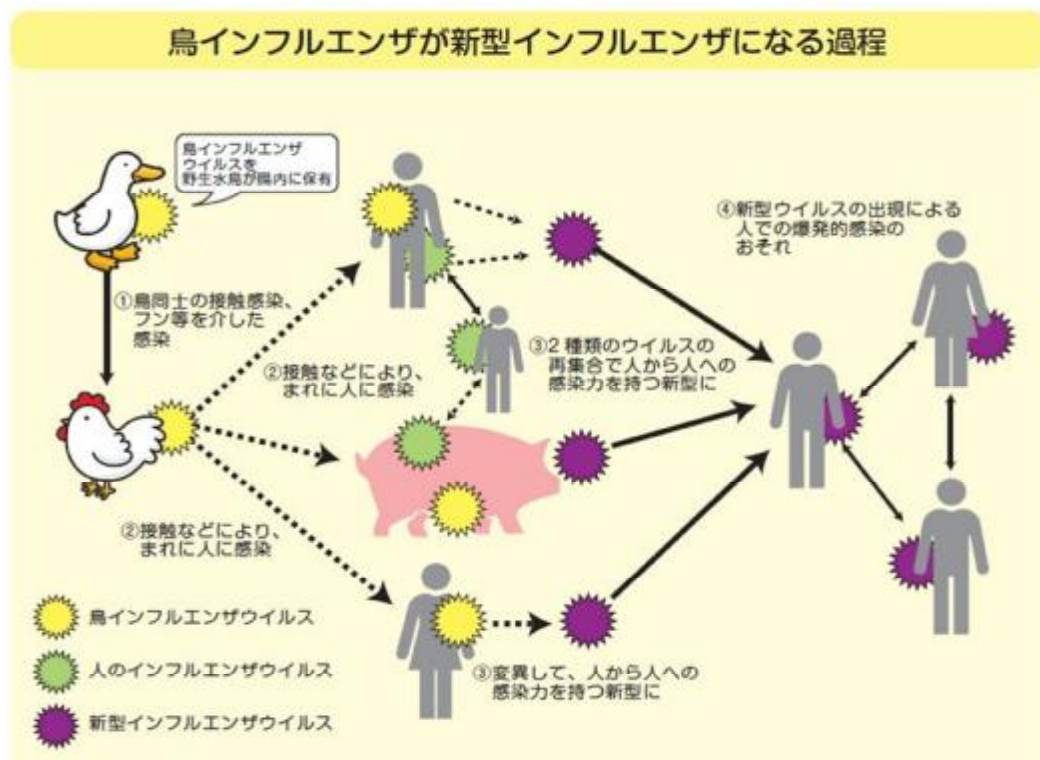
③ 新感染症

感染症であって、既知の疾病と病状や治療の結果が明らかに異なるもので、病状の程度が重篤であり、新型インフルエンザと同様に、まん延により、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。



(2) 鳥インフルエンザ

一般に、鳥インフルエンザは鳥の感染症であるが、稀にウイルスが人に感染し、人から人への感染症を引き起こすことがある。



2 薬剤

(1) タミフル

- ・インフルエンザ治療薬として用いられる経口投与型の薬。カプセルとドライシロップの2タイプの剤型がある。
- ・「10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控えること。」となっている。
- ・「また、小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、タミフルによる治療が開始された後は、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。」と添付文書に記載されている。

(2) リレンザ

- ・吸入型のインフルエンザ治療薬としてグラクソ・スミスクライン社より販売されている。経口投与型のタミフルに比べて即効性がある。(世界初のインフルエンザ治療薬としてタミフルよりも先に販売された。)
- ・治療の場合には1日2回、計5日間使用する。
- ・タミフルやラピアクタに耐性のあるインフルエンザウイルスが検出されているが、リレンザやイナビルにおいては耐性ウイルスは検出されていない(下図参照)。

(参考) 耐性ウイルス検出数

	H1N1 pdm				H3N2			
	タミフル	リレンザ*	イナビル	ラピアクタ	タミフル	リレンザ*	イナビル	ラピアクタ
耐性株数	44	0	0	44	0	0	0	0
%	1.80%	0	0	1.80%	0	0	0	0
解析件数	2419	294	294	2419	154	154	154	154

<国立感染症研究所 抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス 2016年08月02日より一部改編>

(3) イナビル

- ・吸入型のインフルエンザ治療薬として、第一三共株式会社により販売されている薬。
- ・リレンザと同じ吸入型であるが、服用回数が1回で済む。
※リレンザとタミフルは共に1日2回で治療の場合は5日間、予防の場合は10日間服用し続けなければならない。一方、イナビルはこれらの薬品に比べて薬の成分が長く患部にとどまるという特質があるので、1回の吸入で治療が完結できる。
- ・リレンザと同様に気管支喘息及び慢性閉塞性肺疾患等の慢性呼吸器疾患の患者では、患者の状態を十分に観察しながら投与することとなっている。

(4) ラピアクタ

- ・シオノギ製薬より販売されている、点滴で投与できる唯一のインフルエンザ治療薬。
- ・タミフルやリレンザと違い、基本的に病院で投与される形となる。タミフルやリレンザのように一定の服用期間がある訳ではなく、1回の点滴で済む。症状に応じて連日反復投与されることもある。
- ・腎機能が低下している場合は、1回の投与量の調整が必要となる。

(備考) アピガン

- ・平成26年3月、国内での製造販売が承認された新型インフルエンザ治療薬。開発元は富士フィルムホールディングス傘下の富山化学工業株式会社。
- ・アピガン錠の効能・効果は「新型又は再興型インフルエンザウイルス感染症(ただし、他の抗インフルエンザウイルス薬が無効又は効果不十分のものに限る)」。

抗インフルエンザウイルス薬の種類と特徴

商品名	タミフル®	リレンザ®	イナビル®	ラピアクタ®	アビガン®
一般名	オセルタミビル	ザナミビル	ラニナミビル	ペラミビル	ファビピラビル
製剤形態	経口薬	吸入薬	吸入薬	静注薬	経口薬
承認取得企業	中外製薬 (ロシュ)	グラクソ・スミスクライン	第一三共	塩野義製薬	富山化学工業
適応(治療)	1日2回×5日間	1日2回×5日間	単回	単回 ※症状に応じ、 連日反復投与可	1日2回×5日間
適応(予防)	1日1回×7-10日間 ※小児は10日間	1日1回×10日間	1日1回×2日間	適応なし	適応なし
薬価 成人1治療あたり	3,179円	3,470円	4,279.8円	6,216円(バッグ) 3,338円(バイアル)	未定
使用期限	10年 (平成25年7月) ドライシロップ:7年 ※10年までの試験実施 予定	10年 (平成25年11月)	6年 (平成26年12月) ※10年までの試験実施 予定	3年(バッグ) (平成24年2月) 4年(バイアル) (平成26年3月) ※10年までの試験実施 予定	5年 (平成26年3月)
薬事承認時期	平成12年12月	平成11年12月	平成22年9月	平成22年1月	平成26年3月 ※承認条件付き
保険適応時期	平成13年2月	平成13年2月	平成22年10月	平成22年1月	未定
市場流通量 (H26.9-H27.3)	422万人分	131万人分	400万人分	44万人分	-
備考	輸入	輸入	国内製造	国内製造	国内製造 ※新型又は再興型イン フルエンザウイルスが既 存の薬剤に無効又は効 果不十分の場合に国が 必要と判断した場合に 使用。

(参考) 平成 28 年 1 月
製造分から、使用期限
は 7 年に延長

〔タミフル (カプセル)〕



〔リレンザ〕



〔イナビル〕



〔ラピアクタ〕



〔タミフル (ドライシロップ)〕



(出典) 第3回新型インフルエンザ対策に関する小委員会〔平成27年9月11日(金)〕、中外製薬株式会社提供資料